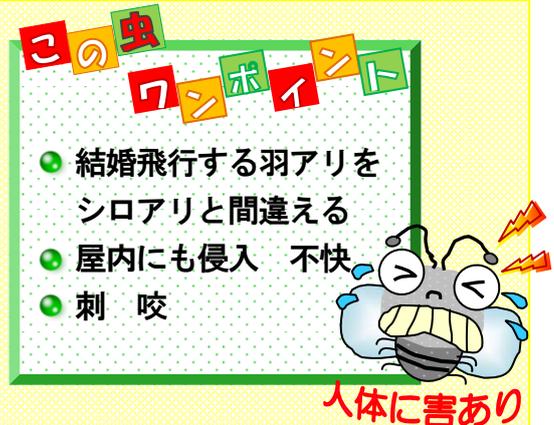


# アリ

羽アリを見かけると、シロアリが発生したと思って慌てる場合があります。



屋外にいた羽アリ(宮前区菅生・9月)



## ● 形態

- ・体長は2～10 mm程度。体色は濃黒・淡黒・赤褐色など多様です。

## ● 生態

- ・アリはハチの仲間です。
- ・アリは社会性昆虫で、女王アリを中心にオス・兵アリ・働きアリの階級制度で構成されています。普段見かけるアリは働きアリです。
- ・6月下旬～9月頃の蒸し暑い夕方、翅を持ったオスとメスが結婚飛行(交尾)を行います。
- ・多くの羽アリが家の灯りなどに集まってくるため、屋内にも侵入し不快感を与えます。
- ・羽アリは、シロアリの羽アリと間違えることがよくあります。(シロアリとの見分け方は「シロアリ(P4)」をご覧ください。)

## ● 被害

- ・ほとんどのアリは咬む性質を持ち、種によっては傷みが残ったり、赤く腫れたりする場合があります。
- ・ハチに近縁の種であるため毒針で刺す種もありますが、日本では針で人を刺す種はほんのわずかで、刺されてもそのときに痛みがある程度です。
- ・アリが刺咬するのは、身やコロニーを守るためです。

## ● 駆除するには

- ・目につくアリを駆除しても、巣内には大多数のアリが潜伏しています。また巣の発見も困難です。
- ・遅効性の殺蟻剤が使用されている毒エサを利用します。働きアリが毒エサを巣に持ち帰るため、巣内のアリにも効果があります。
- ・巣の場所がわかる場合は、スプレー式殺虫剤を噴霧します。

## ● 発生を予防するには

- ・屋内にエサとなる食品クズを残さずきれいに清掃します。
- ・侵入口となる外壁や木材の腐食部分を補修します。

